

小児がんゲノム医療研修 報告

(小児がん中央機関 小児がん医療従事者育成事業)

加藤元博

国立成育医療研究センター

小児がんセンター 小児がんゲノム診断科

小児がんゲノム医療研修

- 日時：2019年11月4日（月・祝） 13-17時
- 場所：御茶ノ水ソラシティ
- 参加者：計84名
 - 医師：38名、看護師：12名、検査技師：18
遺伝カウンセラー：7名、SW：3名
薬剤師：4名、保健士：1名、その他：1名



研修のテーマ

• 研修内容(座学)

- がんゲノム医療の基本知識 (加藤元博)
- 小児がんの早期相試験・治験 (小川千登世)
- 小児がんと遺伝 (田村智英子)
- 小児がんゲノム医療における病理検査 (義岡孝子)
- ゲノム検査レポートの読み方 (加藤元博)

がんのゲノム病態と
ゲノム医療の意義の基本知識
= 「がんゲノム医療ってなあに？」



加藤元博
国立成育医療研究センター
小児がんセンター 小児がんゲノム診断科
(がんゲノム医療研修2019年11月4日@お茶)

小児がんの早期相試験・治験とは？



国立がん研究センター
中央病院
National Cancer Center Hospital
小児腫瘍科 小川千登世
小児がんゲノム医療研修 20191104 NCCHD

小児がんは遺伝するか？
～がんの遺伝性に関する情報を診療に活かす～

田村 智英子
認定遺伝カウンセラー(米国、日本)
FMC東京クリニック 医療情報・遺伝カウンセリング部
順天堂大学医学部附属順天堂医院 遺伝相談外来
e_tamura@t3.rim.or.jp

小児がんゲノム医療における
病理検査の知識と注意点

国立成育医療研究センター病理診断部
義岡 孝子
2019.11.4.
2019年度小児がん中央協議 小児がん医療従事者育成事業
小児がんゲノム医療研修

2019年5月29日報道



本日の話のアウトライン

本日のお話



1. 病理部門におけるホルマリ
ン固定パラフィンブロック

研修開催についての希望

- 研修の開始時間について(13-17時)
 - おおむね「ちょうどよい(84.1% : 37/44)」であったが、「もう少し早く終わったほうがいい(13.6%)」も
 - 一方、「もう少し時間が長くてもいい(13.6%)」も
- 研修の形態について
 - 座学のみがいい 74.5% (35/47)
 - 座学+グループワークがいい 25.5% (12/47)
- このような研修を地域ブロックで実施できますか？
 - いいえ 81.8% (9/11)
 - その理由(複数回答可)
 - 講師の確保がたいへん 5
 - 事務作業がたいへん 4
 - 予算が足りない 4